

## 事例紹介

## 電力使用状況に見合ったパネル・蓄電池の選定で再エネ活用

事業所名称	株式会社 国沢	施設概要	パネル：8.4kW    パワコン：5.5kW    蓄電池：11.1kWh
施設名	にじ薬局	電力使途	平常時：店舗（薬局）の照明、冷蔵庫などの電源 停電時：店舗（薬局）の照明、冷蔵庫などの電源
所在地	指宿市十二町	発電開始	令和5年1月

取組のきっかけ	電気料金が高騰する中、経費の削減を行うためと、停電時も薬品の保管なども含めて電力を確保することが必要なため太陽光発電＋蓄電池の導入を行った。
事業の取組方法	店舗の新設にあわせて自家消費用の太陽光発電設備と蓄電池を設置。 太陽光パネルは屋根に設置 余剰売電契約（九州電力）はしているが、実質的に全量自家消費となっているため売電実績なし。
事業の成果	電気代が削減できた。設置前と比較すると1/2になっている。 電力使用に占める再エネ比率は60%と高い割合になっている。
課題	特になし。
今後の展開	継続的に利用していきたい。

年間增收効果	年間CO2削減量
約20万円 (料金削減額から算定)	3.9トン

### 注目ポイント

- ・ 電力使用量と発電設備の規模、蓄電池の容量の設定が適正で、発電力を十分に活かせる（全量有効活用できる）設備構成になっていて、電気料金を約1/2に削減、再エネ比率も約61%と高い比率を実現できている。



↑ 設備の設置状況  
← 電力を使用している店舗